

検査受託中止のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして診療報酬における経過措置満了により、2022年4月1日以降は保険点数が削除となるため、下記の期日より検査の受託を中止させていただきます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白



項目名

総合検査案内 2021:1ページ掲載

● アルブミン(Alb)/BCG法

(依頼コードNo.00403)

● アルブミン・グロブリン比(A/G比)

(依頼コードNo.00402)

最終受託日 2022年3月31日(木) ご依頼分まで

- 受託中止に合わせて報告書と依頼書のレイアウトの見直しを予定しております。

既存のALB/BCG法の印字位置にALB/BCP改良法の基準値を記載し、また、A/G比につきましてもBCP改良法で計算したA/G比の基準値を記載予定です。内容が決定次第、改めてご案内申し上げます。

- 代替項目と付随する関連項目

検査項目名	依頼コードNo.	
	代替項目	中止項目
ALB	00417	00403
ALB 透析前	01780	02468
ALB 透析後	01814	02768
ALB その他	02689	07012
A/G比	00468	00402
A/G比 透析前	01797	02469
A/G比 透析後	01839	02769
A/G比 その他	03214	07011

次ページに続きます

株式会社 **第一岸本臨床検査センター**

札幌本社：〒007-0867 札幌市東区伏古七条三丁目5番10号 ☎(011)787-2111 FAX(011)787-2191

資料、お問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願いいたします。

受託要領

●アルブミン

	代替項目	中止項目
依頼コードNo.	00417	00403
検査項目名	アルブミン/BCP改良法	アルブミン(Alb)
統一コード	3A015-0000-023-271	同左
検体必要量	血清 0.5mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	1~2	同左
検査方法	比色法(BCP改良法)	比色法(BCG法)
基準値	3.8~5.2	3.7~5.5
単位	g/dL	同左
報告範囲 (報告形式)	0.1以下~70.0 (上限値を超えた場合は別紙報告)	0.1以下~66.0 (上限値を超えた場合は別紙報告)
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	11点/144点(生化学的検査(I))	同左

●アルブミン・グロブリン比

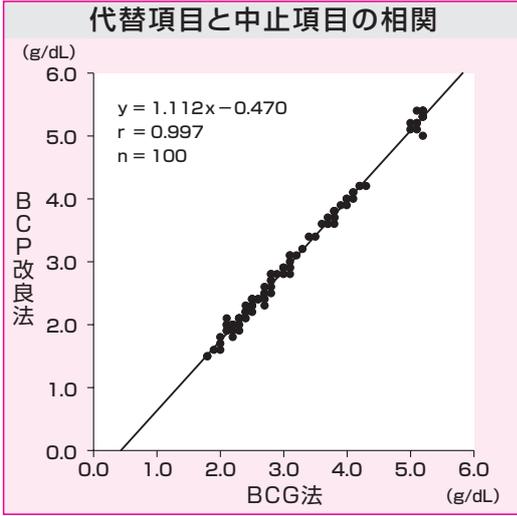
	代替項目	中止項目
依頼コードNo.	00468	00402
検査項目名	アルブミン・グロブリン比(A/G比)	アルブミン・グロブリン比(A/G比)
統一コード	3A016-0000-023-919	同左
検体必要量	血清 0.5mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	1~2	同左
検査方法	比色法(Biuret・BCP改良法)	比色法(Biuret・BCG法)
基準値	1.2~2.2	1.30~2.00
単位	なし	なし
報告範囲	0.0~最終値	0.00~最終値
報告桁数	小数第1位	小数第2位
検査実施料/判断料	未収載	未収載

【検査方法の参考文献】

佐々木真弓, 他: 医療と検査機器・試薬 26, 335-338, 2003.

代替項目と中止項目の相関図(ご参考)

●アルブミン



自社検討資料

ご参考

各種の診断基準やガイドラインには BCG 法の測定値が用いられておりますが、BCP 改良法への対応については日本臨床検査医学会から下記のような換算が提言¹⁾されております。

		BCG法	2.5	2.8	3.0	3.5
		BCP改良法	2.2	2.5	2.7	3.2
肝硬変	Child-Pugh分類					
	ネフローゼ症候群					
栄養状態の識別	CONUT値					
	GPS					
	三木分類					
アルブミン製剤の効果の評価	急性の場合					
	慢性の場合					

各病態に対して換算式を1つに決めることは極めて困難であるが、図に示された疾患の病態識別値としてはBCP改良法の測定値が3.5g/dL以下の場合、測定値に0.3g/dLを加えた値をBCG法での推測値と近似するのが妥当とする。

診断基準などにおけるアルブミン(g/dL)の判断値²⁾

1) BCG 法と BCP 改良法による測定値の差の取り扱い方
 日本臨床検査医学会 血清アルブミン定量値ワーキンググループ：臨床病理 62, 5-9, 2014.
 2) 前川真人：医学のあゆみ 251, 182-183, 2014.